



第18期 株主通信

2014年4月1日 ～ 2015年3月31日

 **ジャパンマテリアル株式会社**

証券コード：6055

ジャパンマテリアルのご紹介

■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送にかかわる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

事業紹介

グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージプレーヤーなどの販売・サポートを行っております。
小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビションなど幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送用ビデオ機器などの販売・サポートを行っております。
主要放送局・地方局やポストプロダクションで多数採用されています。

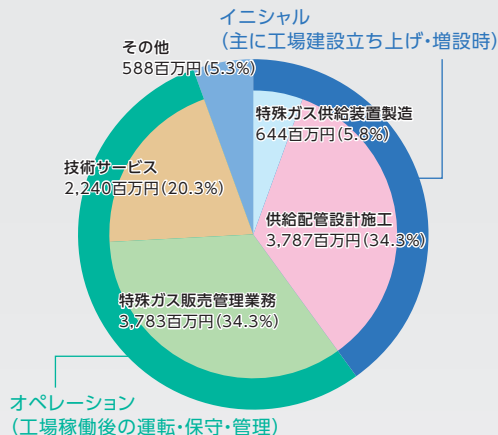
3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

エレクトロニクス関連事業

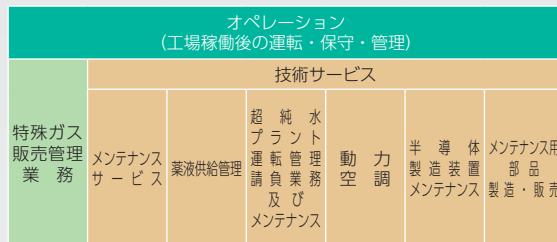
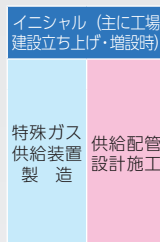
事業内容

エレクトロニクス関連事業 内訳



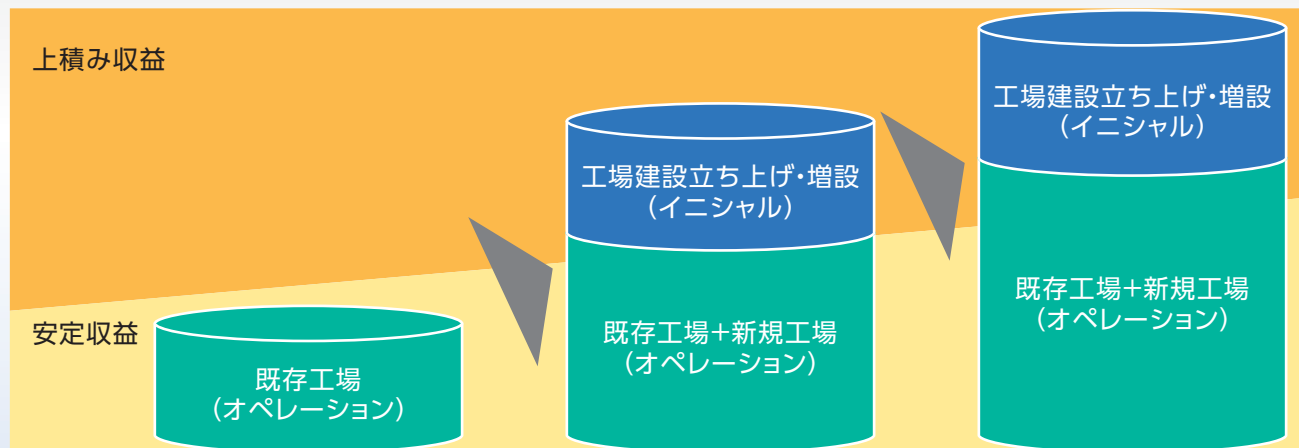
主に半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業を行っております。

2015年3月期からは半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等へ事業領域を拡大しており、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心として顧客のコストダウンに貢献しております。



ビジネスモデル

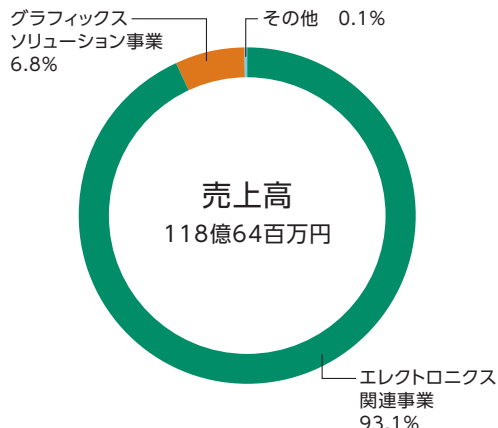
お客様にご満足いただけるサービスを提供することで、既存工場でのサービス領域拡大や、工場新設・増設における稼働後のオペレーション業務の獲得により、オペレーション業務で継続的に収益を得る「階段状」の収益構造を構築。





代表取締役社長 田中久男

トリプルウィン& トリプルジェネレーションの 経営を目指します



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここに当社グループの第18期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の営業の概況と決算についてご報告申し上げます。

当期の業績についてお聞かせ下さい。

2015年3月期 売上高 118億64百万円
経常利益 27億43百万円
当期純利益 17億33百万円

当社グループが属する業界では、スマートフォンやタブレット端末及び車載向けの半導体や中小型ディスプレイを中心とした需要が拡大していることから、設備投資が継続して実施され、生産活動も順調に推移しました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業は、主要顧客の半導体及び中小型ディスプレイ工場の事業拡大に伴う設備投資が継続して実施されていることから、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門（特殊ガス供給装置製造、供給配管設計施工）においては、主に半導体工場向け案件を継続的かつ確実に受注したことにより順調に推移しました。また、国内及び海外顧客工場での生産活動も順調に推移したことから、顧客工場の生産活動に伴い発生するオペレーション部門（特殊ガス販売管理業務、技術サービス等）につきましても好調に推移しました。

一方、グラフィックスソリューション事業においても、主にビデオウォール向けグラフィックボード販売及びデジタルサイネージ向け販売が順調に推移しました。

以上の結果、業績に関しては右記のとおりになりました。

次期の見通しについてお聞かせ下さい。

トータルファシリティマネジメント(TFM)の充実による安定収益基盤の強化

当社グループが属する業界におきましては、高性能スマートフォン及び車載用パネルなどの需要は引き続き持続するものと予測されることから、設備投資は継続して実施され、生産活動も堅調に推移するものと考えられます。

このような状況の中、当社グループにおいては、事業領域を拡大するため、新規顧客の開拓や既存顧客における事業範囲の拡大を積極的に行い、受注拡大を図ってまいります。

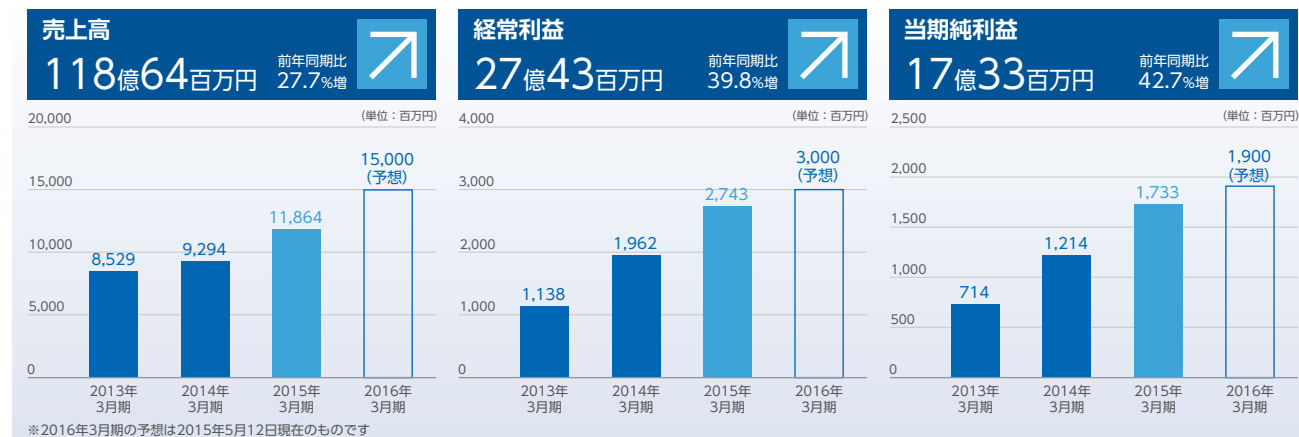
エレクトロニクス関連事業におきましては、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント (TFM)」を活かしたオペレーション部門において、各種提案を強化することで安定収益基盤の拡大

を継続するとともに、他社との差別化を図り、新規顧客獲得、事業領域の拡大はもちろん、お客様の期待以上の価値を提供出来るよう展開を図ってまいります。また、イニシャル部門では、主要顧客における大型設備投資の実施が予測されることに伴い、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

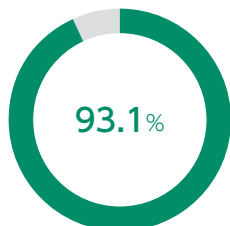
一方、グラフィックスソリューション事業では、パソコン関連部品であるグラフィックボードを中心にデジタルサイネージ分野、ビデオ関連製品の販売拡大、放送業界向けに導入したリアルタイム3Dキャラクタージェネレーターの積極的な営業を継続することで、新規顧客を獲得し事業拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

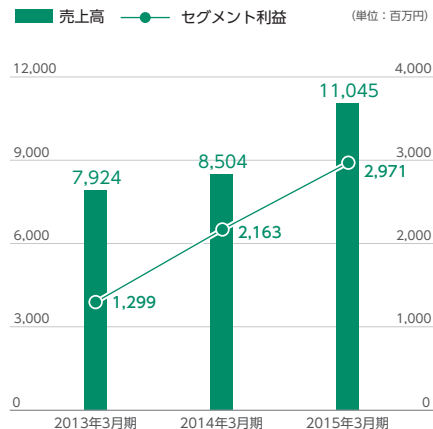


エレクトロニクス関連事業

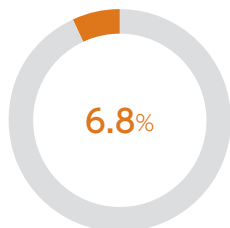


売上高	110億45百万円 (前年同期比 29.9% 増)
セグメント利益	29億71百万円 (前年同期比 37.4% 増)

半導体及び中小型ディスプレイ工場向けに当社グループの強みであり、ます「トータルファシリティマネジメント(TFM)」を強化することで事業範囲が拡大し、主要顧客工場においても生産活動の拡大がみられたことから、安定収益基盤である特殊ガス販売管理業務及び新たにスタートした半導体製造装置メンテナンス等の技術サービスを提供するオペレーション部門は好調に推移しました。また、特殊ガス供給装置の開発製造、供給配管設計施工等のイニシャル部門では、国内主要顧客の半導体工場において設備投資が継続的に実施されたことにより、売上高及び利益は堅調に推移しました。この結果、上記のとおりとなりました。

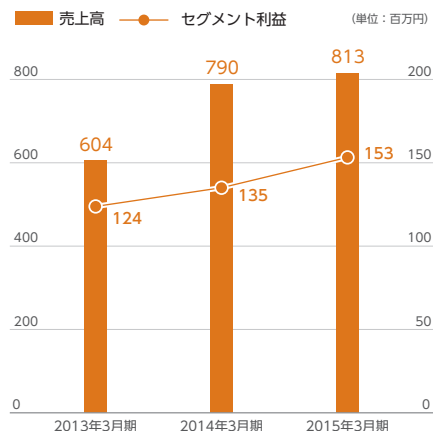


グラフィックスソリューション事業



売上高	8億13百万円 (前年同期比 2.9% 増)
セグメント利益	1億53百万円 (前年同期比 12.8% 増)

パソコン関連部品であるグラフィックボードを中心としてデジタルサイネージ分野、ビデオ関連製品の販売拡大など積極的な営業展開を継続したことにより売上高及び利益は順調に推移しました。この結果、上記のとおりとなりました。



連結財務データ

Consolidated Financial Data

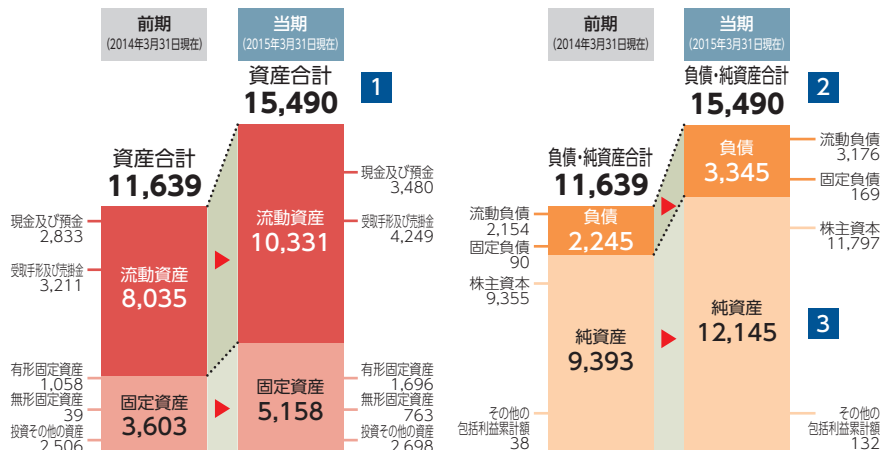
詳細情報は

ジャパンマテリアル IR

検索

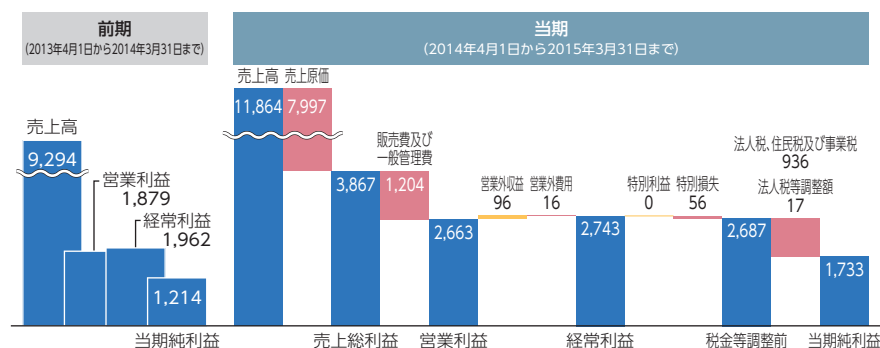
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



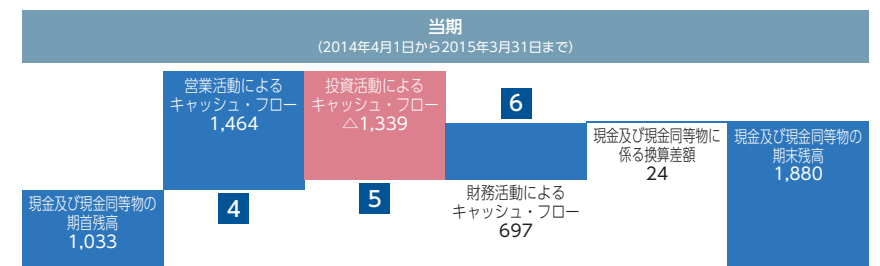
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

主として仕掛品が1億56百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が10億38百万円増加、のれんが7億17百万円増加、現金及び預金が6億46百万円増加、商品及び製品が5億27百万円増加、建設仮勘定が4億18百万円増加し、資産合計は154億90百万円となりました。

2 負債合計

主として支払手形及び買掛金が4億86百万円増加、未払金が2億8百万円増加、短期借入金が1億29百万円増加し、負債合計は33億45百万円となりました。

3 純資産合計

主として利益剰余金が14億19百万円増加、新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5億11百万円増加し、純資産合計は121億45百万円となりました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益26億87百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額9億7百万円、売上債権の増加6億86百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入が29億円であり、支出の主な内訳は定期預金の預入による支出25億50百万円、有形固定資産の取得による支出8億34百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出8億15百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、株式の発行による収入10億12百万円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額3億14百万円であります。

半導体製造装置メンテナンス事業開始
(株)JMエンジニアリングサービス設立
地域密着イベント餅つき大会を開催

第17回定時株主総会を開催

株式投資ウインター
セミナーに出展

菰野町
クリーン大作戦に参加

Inter BEE 2014に出展

みえリーディング産業展2014に出展

4月

5月

6月

10月

11月

1月

3月

「Karisma CG」販売開始

太陽光発電事業開始

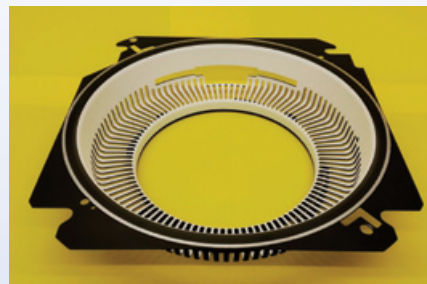
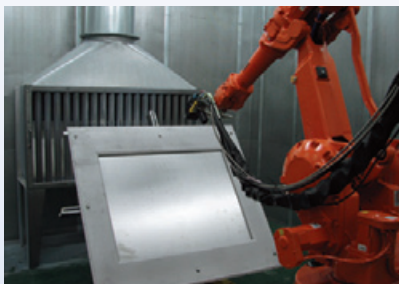
鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン
ボランティアスタッフとして参加

ALDON TECHNOLOGIES
SERVICES PTE LTDを子会社化

ADCT TECHNOLOGIES
PTE LTDを子会社化

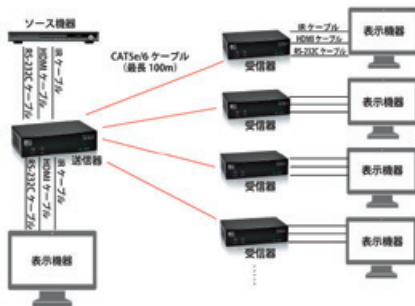
シンガポール法人2社 (ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD、 ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD) を子会社化しました。

ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD及びADCT TECHNOLOGIES PTE LTDは、アジア地域で半導体製造工程のパーツ・プロセスキットのセカンドソーサーとして製造・販売・洗浄・メンテナンス事業を展開し、強化コーティング等の付加価値サービスを顧客に提供しているシンガポール法人です。



グラフィックスソリューション商品紹介

米国Digitogo社製「HDBaseTシリーズ HDMI 4K延長器/延長分配器」の取り扱いを開始しました。HDMIやRS-232C、IR信号を1本のCAT5e/6ケーブルで最長100m延長、または複数のディスプレイに分配・延長できます。ブロードキャスト、デジタル・医療サイネージ市場では世界中のユーザーに使用されており、弊社の映像ソリューションの幅を広げる製品です。



グラフィックスソリューション商品紹介

プロフェッショナル用途のディスプレイケーブルの取り扱いを開始しました。弊社の主力製品であるMatrox社製グラフィックス製品やBrightSign社製サイネージプレーヤーと親和性の高いケーブルを8種類52品目ラインナップすることで、表示機器のトータルソリューションをご提案します。



パッシブHDMIケーブル



HDMI⇄DVIケーブル



デュアルリンクDVIケーブル



VGAケーブル



配線用VGAケーブル



配線用シングルリンクDVIケーブル

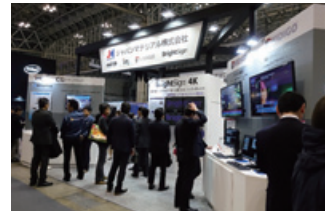
Karisma CG (リアルタイム3Dキャラクタージェネレーター)

ニュース、天気予報、スポーツ中継やショッピングチャンネル等で使われる2D・3Dテロップの編集・作成・再生・プレビュー・外部制御まで全てを一台でこなすオールインワンシステムです。「Karisma CG」は放送の現場だけでなく、学校、企業、スタジアムやホールなどで幅広く使用することができます。



Inter BEE 2014に出展

2014年11月19日から21日までの3日間幕張メッセで開催された「Inter BEE 2014」に出展しました。Matrox社製グラフィックス製品やBrightSign社製サイネージプレーヤー等を展示したほか、VidiGo社製スタジオオートメーションシステム、VRI社製リアルタイム3Dキャラクタージェネレーターをご体感いただけるスタジオを設置し、多くの放送関係者にご来場いただきました。



会社情報

Corporate Data

会社概要(2015年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証一部、名証一部
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)615名、(単独)196名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
本店所在地：〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22

関係会社(2015年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	10	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市堺区	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	静岡県浜松市中区	19	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾台中市	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業

役員(2015年6月24日現在)

代表取締役社長	田 中 久 男
常務取締役執行役員	深 田 耕 志
取締役執行役員	小 川 圭 造
取締役執行役員	門 脇 宏 八
取締役執行役員	長 谷 圭 祐
取締役執行役員	田 中 智 和
取締役執行役員	坂 口 好 則
社 外 取 締 役	町 田 和 彦
社 外 取 締 役	大 島 次 郎
常 勤 監 査 役	喜 多 照 幸
社 外 監 査 役	安 井 広 伸
社 外 監 査 役	春 馬 葉 子
執 行 役 員	西 村 辰 彦
執 行 役 員	森 正 勝

グループネットワーク

海外

【台湾】

茂泰利科技股份有限公司



【シンガポール】

ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD



株式会社東和商工
大牟田事務所

株式会社PEK

本社
四日市事業所
四日市TGM事業所
株式会社東和商工
株式会社JMテック
株式会社クスノケミコ
株式会社JMエンジニアリングサービス

石川事業所

柏崎事業所

深谷TGM事業所

茂原サービスセンター

東京本部

株式会社シーセット

株式情報

Stock Information

株式の状況(2015年3月31日現在)

発行可能株式総数 54,000,000株
発行済株式の総数 17,518,944株(自己株式数5,976株を除く)
単元株式数 100株
株主数 6,122名

大株主の状況(2015年3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	3,385,800	19.3
田中 智和	2,617,800	14.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,161,800	6.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,115,800	6.4
喜多 照幸	731,760	4.2
JMグループ従業員持株会	433,700	2.5
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	396,600	2.3
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS	380,000	2.2
株式会社百五銀行	360,000	2.1
株式会社東芝	360,000	2.1

(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(5,976株)を控除して計算しております。

1株当たり配当金

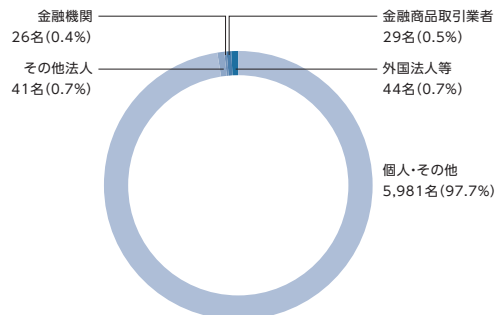
25円

配当政策

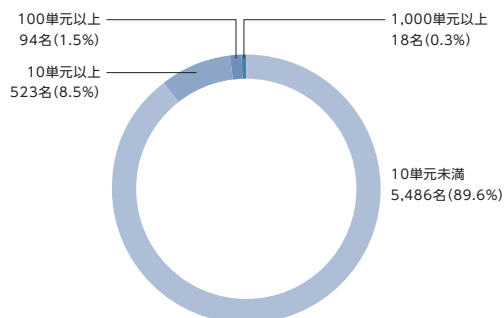
当社グループは、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を行うことを基本方針としております。

当期の配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり25円の配当を実施する事を決定いたしました。内部留保金につきましては、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を図りながら、当社グループの経営基盤の整備・拡充等に有効活用し、競争力及び収益力の向上を図ってまいります。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 配当金受領 株主確定日 3月31日（期末配当）
 定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 0120-232-711（通話料無料）
 公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>
 証券コード 6055
 【ご注意】

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ

IR情報トップページ

ホームページで最新情報を提供
 当社のホームページでは、会社情報、各事業情報、CSR情報等に加え、充実したIR情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.j-material.jp/>

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
 TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。